

1. 授業の概要(ねらい)

保育・幼児教育において、音楽は非常に大切な役割を担っている。音楽を通じて、子どもたちの感性を育て、表現力を引きだし、創造力を養うことができるよう、本講では1年次に習得した基礎的な音楽技能を高め、応用力の育成を目指す。授業の中心は実技活動である。

2. 授業の到達目標

保育・幼児教育の現場で求められる音楽技能の習得とその応用。具体的には、現場で必要とされるピアノ曲の演奏と子どもの歌の弾き歌い、さらには子どもの歌への簡易な伴奏づけ、初見奏などに取り組む。初見奏(歌付き伴奏)に取り組む。授業を通じて習得した音楽技能を総合的に活用できるようにする。

3. 成績評価の方法および基準

実技による定期試験を基本とする。(50%)

その他、授業内における小テスト(10%)や取り組んだ曲数(30%)、課題の到達度(10%)も評価に含む。

また、平常点も評価に加味する。

4. 教科書・参考文献

教科書

小林美実編 『続こどものうた200』 チャイルド本社

5. 準備学修の内容

ピアノ実技および弾き歌いについては、授業時はもちろんのこと、授業外に地道な自己練習を行うようにしよう。とくに予習に力を入れることが大切である。

6. その他履修上の注意事項

実技等の活動への積極的な取り組みを期待する。毎月の必修曲(弾き歌い・ピアノ曲)を必ず終えることが大事である。さらに必修曲以外にできる限り多くの曲に取り組もう。各自で目標を定め、その目標に向かって努力する点が重要である。

7. 授業内容

- 【第1回】 実技の上達のために休み中の課題の発表をしよう
- 【第2回】 子どもの歌の弾き歌いと伴奏法:メジャー・コードと移調を学ぼう
- 【第3回】 子どもの歌の弾き歌いと伴奏法:二長調のコードの基本を学ぼう
- 【第4回】 子どもの歌の弾き歌いと伴奏法:二長調のコードの発展とマイナー・コードを知ろう
- 【第5回】 小テスト 二長調のコードの弾き歌いを行おう
- 【第6回】 子どもの歌の弾き歌いと調の変化:ト長調のコードの基礎を学ぼう(1)シャープ系の調のしくみを知ろう
- 【第7回】 子どもの歌の弾き歌いと調の変化:ト長調のコードの発展を知ろう(2)旋律とリズムに注意を向けよう
- 【第8回】 子どもの歌の弾き歌いと調の変化:ヘ長調のコードの基礎を知ろう (1)フラット系の調のしくみを知ろう
- 【第9回】 子どもの歌の弾き歌いと調の変化:ヘ長調のコードの発展を知ろう (2)ヘ長調ばかりでなく、始まりがフラットとなる調に注意を向けよう
- 【第10回】 小テスト シャープ・フラット系の調を弾きこなそう
- 【第11回】 わらべうたの伴奏:基本を押さえた伴奏法を学ぼう
- 【第12回】 わらべうたの伴奏:基本を押さえ、それを発展させた伴奏法を学ぼう
- 【第13回】 子どもの歌の弾き歌い応用編:コードを応用して、自分で伴奏を書こう(オンライン対応授業)
- 【第14回】 子どもの歌の弾き歌い応用編:自分で書いた伴奏を弾こう
- 【第15回】 子どもの歌の弾き歌い応用編:自分らしい表現で弾こう